

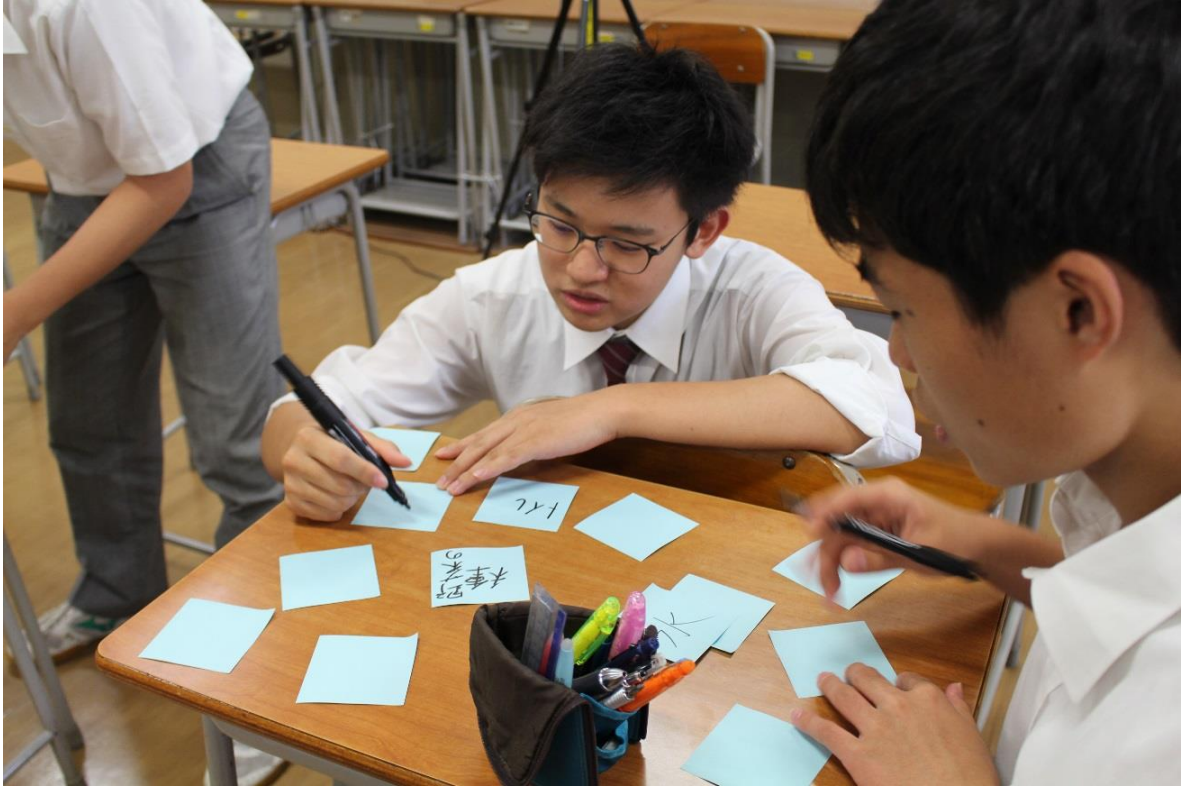
JAXA との授業連携

7月25日(水)、夏期講習Aターム2日目にJAXAとの連携授業を行いました。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の谷口大祐様にお越し頂き、「太陽系にコロニーをつくらう」というテーマで授業を展開して頂きました。参加生徒は各学年各2名の計6名で、男子グループ、女子グループに分かれて行いました。まずは、地球外の惑星に移住するとしたら何が必要なのかをグループで自由に意見を申し合いました。水や酸素ボンベ、食料など比較的容易に想像できるものから化粧品や芸能人、店など娯楽を楽しむ目的のもの、さらに社会的な生活を送るために必要な法律、学校などの意見も出ました。次に、惑星に移住するコロニーミッションをグループごとに宣言してもらいました。男子グループでは「我々は人類の歴史に新たな1ページを刻み、人類の生活をより良くするため人類の活動領域を拡大し、未開の地—火星—を第二の地球とするべく活動することをここに誓う。」、女子グループでは、「武器のない平和な世界をつくる」、というミッションを宣言しました。そして最後に、移住するならどの惑星が最も良いかを結論づけました。女子グループは水などの資源が豊富なケレス、男子グループは比較的生活リズムが地球と近い火星をそれぞれ選びました。

今回の参加者は6名と少人数でしたが、宇宙系に興味をもつ生徒ばかりが集まり質の高い授業内容となりました。



谷口さんのお話を集中して聞いています。



惑星に移住する際に必要なもの書き出しています。



他のグループの意見を見て視野を広げています。



コロニーミッションを発表しています。